

生命(いのち)と生活(くらし)の統計

～住民の声の実態把握と保健活動の事業化・施策化を学ぶ～

地域を単位とする保健活動において、事業と個別事例への対応を別々の活動として位置付けていないでしょうか？本来個別事例に向き合いながら、個を集団としてとらえたときに個別性なのか地域の健康課題なのかを把握し、その課題を解決するための事業化であるべきです。WHOの健康の定義や社会的決定要因、健康格差の実態など科学的根拠に基づく理論と地域での実践活動が一致してはじめて「生命(いのち)と生活(くらし)を衛る」専門職としての保健師活動ではないでしょうか。地域と向き合いながら具体的に保健活動として何ができるのか、地域全体の健康問題として施策化するためにはどうすればいいのか？感覚ではなく経験でもなく個別事例の健康課題をとらえるためにICF(国際生活機能分類)を活用し理論的に課題をとらえる方法を学びたいと思います。実態を視るために公的統計の活用についても学びながら、皆さんと学習し、じっくり学びたいと思います。

1. 日時 令和元年6月22日(土)10時～
23日(日)16時まで
2. 会場 22日(土) 横浜市従会館 (横浜市西区宮崎町25)
23日(日) 横浜市教育会館 (横浜市西区紅葉ヶ丘53)
両会場とも JR/市営地下鉄「桜木町」駅より徒歩10分
3. 講師 藤岡光夫先生(静岡大学名誉教授)
SPA研究会
4. 目的 住民視点、保健師としての専門視点を深め理論に基づく
保健活動の具体的な実践を身につける
内容
 - ・WHOの定義による健康概念と健康の社会的決定要因
健康格差の把握、公的統計による把握と分析
 - ・個別事例(ICFと事例)と集団としての統計観察と分析
 - ・全数調査による健康実態の多面的把握と分析(SPA法)
 - ・担当地域の健康課題を共有し深める
＜実践事例＞①育児期の母の健康調査と施策化(横浜市)
②高齢者の健康調査と生活機能低下予防(長崎市)
5. 参加費 会員 5,000円 非会員 6,000円

申し込み用紙（FAX）

氏名	（ 会 員 ・ 非 会 員 ）	
住所	〒	
所属・職場		
連絡先	電話	
	メールアドレス	
参加日程	<input type="checkbox"/> 2日間 <input type="checkbox"/> 22日（土）のみ <input type="checkbox"/> 23日（日）のみ	
＊PHNブックレット 19「生命(いのち)と生活 (くらしの統計)」（萌文社）をテキストとして使用 します。研修当日ブックレットの購入を希望され る方は申込書に記入してください。	ブックレ ット希望 (1,500円)	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
今回の研究会で学びたいことや、地域活動での課題などご記入ください。		

<申し込み締め切り> 6月14日（金）

<申し込み先>

FAXまたはメール（上記の内容）にてお申し込みください

セミナー事務局 吉峯悦子（長崎市保健師）

FAX 095-844-3510

メール yoshimine.etsuko@yellow.plala.or.jp

<問い合わせ先>

携帯電話 090-9077-3889（吉峯）

職場電話 095-829-1161 FAX 095-829-1140

職場メール yoshimine_etsuko@city.nagasaki.lg.jp

全国保健師活動研究会事務局アドレス phntudo@yahoo.co.jp

《会場案内》

- ① 22日(土) 横浜市従会館 3階 第2・3会議室 (横浜市西区宮崎町25)
- ② 23日(日) 横浜市教育会館 1階 第2研修室 (横浜市西区紅葉ヶ丘53)

*市営地下鉄・JR「桜木町」駅下車 徒歩10分

*近隣に飲食店が少ないので、事前に昼食をお持ちいただくと便利です。

